

平成29年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	原子・イオンダイナミクスの超高分解能直接観察に基づく新材料創成
研究代表者	幾原 雄一
研究期間	平成29年度～平成33年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、原子・イオンダイナミクスを直接観察できる画期的な原子分解能走査透過電子顕微鏡（STEM）法を開発することにより、革新的な材料創成を目指すものである。</p> <p>これまで電子顕微鏡開発分野で世界を先導してきた応募者らが、新たに同装置に時間分解能の機能を付与する世界初の試みであり、原子・イオンダイナミクスの直接観察を可能にすることにより、今注目されているナノ材料及び二次電池材料などの研究開発分野において、多大な貢献が期待できる。</p> <p>以上の理由により、特別推進研究として推進することが適当と考えられた。</p>